

今日のキーワード オーストラリア中銀の金融政策と「新総裁」(豪州)

中央銀行としてオーストラリアの金融政策を担っているのはオーストラリア準備銀行 (RBA) です。もとは、市中銀行のオーストラリア・コモンウェルス銀行が中央銀行としての機能を果たしていましたが、1960年に設立されたRBAがその機能を引き継ぎ、業務を開始しました。RBAの金融政策の目的は、法律で①通貨価値の安定、②最大雇用の維持、③経済的繁栄と厚生との促進と定められています。

ポイント1

物価上昇率を目標とするインフレ・ターゲットを採用 2~3%のインフレ率がターゲット

- RBAはインフレの抑制を金融政策の一義的な中期目標と位置づけ、消費者物価の上昇率を年2~3%で安定させることを明確にしています。一般に、物価安定を図る政策手段のひとつは政策金利です。オーストラリアでは、政策金利としてオフィシャル・キャッシュレート (OCR) と呼ばれる金利が使用されます。OCRは、銀行間の資金取引に適用される翌日物貸出金利です。

ポイント2

9月に総裁が交代 次期総裁は現副総裁のフィリップ・ロウ氏

- 今月に退任するグレン・スティーブンス総裁の後任として、同月18日にフィリップ・ロウ副総裁が「新総裁」に就任します。任期は7年です。
- 同氏は、バーナンキ米連邦準備制度理事会 (FRB) 前議長やドラギ欧州中央銀行 (ECB) 現総裁と同じく米国のマサチューセッツ工科大学 (MIT) で経済学の博士号を取得しています。
- 1980年のRBA入行後、国際部、調査部、金融安定化部などを経て、2012年2月に副総裁の職に就きました。この間、国際決済銀行 (BIS) への出向経験もあります。

金融政策の目標

- ・通貨価値の安定
- ・最大雇用の維持
- ・経済的繁栄と厚生との促進



今後の展開

日豪金融政策の方向性の違いなどから豪ドルは底堅い展開へ

■ 総裁交代による金融政策変更はない見込み

欧米の中央銀行が外部から総裁を招来することが多いのに対して、RBAは自行の内部から選出するのが伝統となっています。今回の総裁交代も例外ではなく、これまでの物価および豪ドルの安定に重点を置く政策スタンスも引き継がれる見込みです。

■ 豪ドルは底堅い展開へ

足元の物価上昇率は目標の下限2%を下回っていますが、国内景気が底堅く推移していることから、RBAは当面のところ政策金利を据え置く見通しです。日銀のさらなる追加緩和の可能性などを考慮すると、豪ドルの対円相場は堅調に推移すると予想されます。

ここも チェック!

2016年9月14日 最近の指標から見る中国経済 (2016年9月)
2016年9月 6日 豪州の金融政策は据え置き (2016年9月)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。